

2020年9月17日

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20
ディーアイシービル

「応用脳科学コンソーシアム」発足による

脳科学と AI 融合研究のテーマ「脳モデル開発ユニット」に参画

－化学素材の観点から脳科学と AI の融合研究に取り組み、製品開発に活用－

D I C株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫）は、「一般社団法人応用脳科学コンソーシアム」（所在地：東京都千代田区、代表理事・会長：柳田敏雄、代表理事・理事長：岩本敏男、以下「応用脳科学コンソーシアム」）発足による脳科学と AI 融合研究のテーマ「脳モデル開発ユニット」に 2020年9月14日より参画することになりましたので、お知らせします。

「脳モデル開発ユニット」は、D I C株式会社、アサヒクオリティードイノベーション株式会社、旭化成株式会社、株式会社 NTT データ、株式会社 NTT データ経営研究所の 5 つの企業及び国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）、脳情報通信融合研究センター（CiNet）などの研究機関や大学の参画による産学連携を主体とした研究開発活動への取り組みとなります。

当社は、本ユニットへの参画を通じて化学素材の観点から脳科学と AI の融合研究に取り組むことで、得られた脳融合型 AI の成果を製品開発に積極的に活用することにより、当社の経営ビジョンである「化学で彩りと快適を提案する - Color & Comfort by Chemistry-」の実現につながる素材の開発と提供を目指します。

【応用脳科学コンソーシアムと脳モデル開発ユニットについて】

■ 設立の背景

世界中で AI の研究や事業応用が急速に進む中、今後、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の流れにのり、AI がビジネスに与えるインパクトはさらに大きくなると予想されています。このような中、人間の脳の仕組みや機能を AI に応用する脳科学と AI の融合研究は、今後、一つの大きな分野となりうる可能性を秘めています。

日本の脳科学研究は世界でもトップレベルであり、若手の優秀な研究者が多数存在しますが、そういった脳科学の研究者の持つ知見や研究成果をビジネスへ応用することを推進する場は不足しているのが現状です。

「応用脳科学コンソーシアム」では、新たに脳科学研究と AI 開発を融合させ、その成果の産業応用を通じ、わが国の国際的競争力強化の一助となるよう、産学連携による研究開発活動を開始します。

■ 設立の目的

- このような背景のもと、日本国内において中長期的かつ継続的に脳科学と AI の融合研究の産業応用に向けた取り組みを実施する、社会的中立性の高い組織の実現を目指します。
- 脳科学研究と AI の融合を図り、その成果の産業応用を加速し、日本企業の国際競争力を強化できる仕組みの

構築を目指します。

- 複数の企業と研究機関が協力して共同で研究開発を行うことで、不足しがちな人的資源、情報資源等を効率的に配分し、研究開発を加速するとともに、脳科学とAIの融合に関する知見を産業に応用できる人材の育成を図ります。

■活動概要

- 「応用脳科学コンソーシアム」内に、新たに「脳モデル開発ユニット」を設置します。同ユニットでは、五感入力（刺激情報）を中心とした身体内外の環境変化に対する脳反応を脳情報データベースとして蓄積・解析し、脳モデルの構築を目指します。さらにそのモデルをベースとしたAIの研究開発に取り組みます。
- 応用脳科学 R&D 研究会による研究活動、応用脳科学アカデミー & ワークショップによる脳科学やAIに関する学習機会の提供、応用脳科学ネットワークによる脳科学やAIを含め人間研究に関する情報をメールマガジンやSNSで提供するなど、脳科学の産業応用に関する普及啓発、脳科学とAIの知見を有する人材の育成を行います。

■応用脳科学コンソーシアムの活動基盤について

異業種の民間企業と異分野の研究者が一堂に会し、脳科学、心理学、人工知能等の最新の研究知見を基盤に「研究開発」、「人材育成」、「人材交流及び社会啓発」に取り組むオープンイノベーションモデルのコンソーシアムであり、下記に示す2つのユニット、3つのプラットフォーム(①~③)で構成

脳モデル開発ユニット

一定の年会費会員資格を有し、かつ研究開発資金を拠出した会員企業で構成され、共同で脳科学研究と人工知能研究を融合した脳融合型AIの本格的な産学連携型研究開発を行うユニット。

応用脳科学活動ユニット

① 応用脳科学R&D研究会(略称:R&D研究会)

特定の研究テーマについて、研究者と複数の会員企業が参画し、脳科学、心理学、人工知能等の最新の研究知見を活用した応用脳科学研究をトライアル実施する研究開発のプラットフォーム。

② 応用脳科学アカデミー & ワークショップ(略称:応用脳科学AWS)

応用脳科学研究及びその事業活用に貢献する人材育成のプラットフォーム。第一線で活躍されている脳科学、心理学、人工知能、行動経済学等の研究者を講師として招聘し、様々な観点から人間と脳について学ぶ。

③ 応用脳科学ネットワーク(略称:応用脳科学NW)

会員企業と研究者の交流、人材育成に資する応用脳科学研究に関連する情報収集、メルマガ、レポート等での情報提供、本コンソーシアムの活動の社会への発信を促進する情報発信活動を行うプラットフォーム。

以上

ー関連ウェブサイト

応用脳科学コンソーシアム WEB サイト : <https://www.can-neuro.org/>

■ D I C 株式会社について

D I C は印刷インキ、有機顔料、PPS コンパウンドで世界トップシェアの化学メーカーです。1908 年、印刷インキの製造と販売で創業し、その基礎素材である有機顔料、合成樹脂をベースとして、自動車、家電、食品、住宅などの様々な分野に事業を拡大。現在、世界の 60 を超える国と地域にグローバルに事業を展開しています。

社 名 : D I C 株式会社 (DIC Corporation)

代 表 者 : 代表取締役 社長執行役員 猪野 薫

所 在 地 : 〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20 ディーアイシービル

設 立 : 1908 年 2 月

U R L : <http://www.dic-global.com/>